政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 清水 肇子：公益財団法人さわやか福祉財団理事長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		一部企業の好況感を背景に、都市部での消費者マインドは上がってきている。内閣府「景気ウオッチャー調査」の直近指数でも、現状・先行きともに3カ月連続で上昇しており、GDP１０－１２月期改定値をみても景気動向は前向きである。しかし、これらは海外観光客の高い消費行動に支えられている側面もあり、全体として安定した回復傾向に乗ったとまでは感じられない。地方の景気回復はいまだ遅れており、地方を回っての声と合わせ、県景気動向指数や小規模企業景気動向調査を見ても景況は悪化している側面がある。
経済の好循環実現に向けた取組について			
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	－	
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	企業が求める従来の働き方に合わないと感じる若者、あるいは家庭や体の状況等により正規雇用の働き方を選択しないまたはできない高齢者、女性、障がい者なども、積極的に意欲をもって働ける環境づくり、転職マーケットの充実、人事考課・配置・昇進の新しい考え方が必要と考える。